問産業観光課　☎内線334

鴫立庵だより

鴫立庵は、西行法師ゆかりの地として名高い、大磯鴫立沢のほとりに建てられているでござる。
庵内には、鴫立庵室、俳諧道場、円位堂、法虎堂、観音堂があり、八十以上もの石造物が安置されているでござる。
京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場のひとつといわれているでござるよ。

鴫立庵大使「えんいくん」
※俗名は佐藤義清(のりきよ)。
出家して法号は円位、後に西行。

◆今月の俳句 1◆

寒鯉の　色を失ふ　まで沈む

神奈川県横浜市　大坪　正美

（評）
季題は「寒鯉」。寒中の鯉です。鯉は淡水魚の王様。山国での貴重な蛋白源であるばかりでなく、泳ぐ姿も美しく立派です。「鯉の瀧上り」などという話もあり、やがては「龍」になるといった伝説もあります。その「鯉」も一年で一番寒い「寒中」はさすがに、川や池の底近くでじっと春の到来を待つばかり。その様子を人々は「寒鯉」と言っていとしみます。この句は「寒鯉」の深く沈む様子を「色を失うまで」と表現したところに、何色とも言えないが、本来の色とも異なることだけは判るといったニュアンスがよくでています。

（鴫立庵庵主　本井　英）